

いよいよ来月(10月)は全国大会 in みなとみらい、楽しみです！



9月に入って、これまでの炎暑も、さすがに和らいできたようです。皆様方におかれましてはつつがなくお過ごしでしょうか。通信9月号のコラムをどうしようかと思案投げ首でしたが、編集長から、近づいてきた「全国大会 in みなとみらい」ネタでどう？という提案がありましたので、その案に乗っかることにいたしました。画像は丁度 10 年前の「2015 全国大会 in 神奈川」のものです。

この 10 年間に、コロナパンデミック、ロシアによるウクライナ侵攻、など世界史的には（ぜんぜん好ましくない）出来事も生きましたが、それらを乗り越えて（偶発的な核戦争も起きずに…）また私的な病気や、知人親族との別れも乗り越えて、なんとか 10 年振りの横浜での開催をむかえられることは、個人的にも嬉しいかぎりで、感慨深いものがあります。10 年前の大会の折、私は何をしていたのかの記憶をたどりますと、掲載写真の中華街には行かず、たしかユーミンの聖地のレストラン「山手のドルフィン」を一人訪ねたのではないかとの記憶があります。

きんきサロン 10 月歌会はお休みですが、文書歌会も含めますと、15~6 名の歌友さんが全国大会にご参加下さいます。皆様と当地で楽しいひと時を過ごせればと願っております。

さて、9月歌会結果です。1席はいぶやん、ゴロ合わせ的な要素もあるけど、五行目に前4行をうまく落とし込んだと好評。作者：「日日是好日」

を使いたかった。2席は2首、黒田節子歌、小鳥から稻を守るためのビニールの鳥の案山子だそうです、初めて知った人も多く盛り上りました。
作者：住まいの近くの田圃で見た光景です。平村幸子歌、文句なしに楽しいお歌、キュウリにとってはどちらが幸せだろう…で盛り上りました。

作者：家庭菜園でキュウリが沢山出来たので…。
3席、玉虫歌、蜩の声が聞こえてくるよう、と好評。作者：最近の実体験です。（いぶ記）

第 320 回きんきサロン歌会

1

夏休みが終わるころ
宿題がまだ
残っていることを
告白して
振られた記憶がある

天河童 4 点

2

太陽と
浮浪雲重なり
ひと時の涼
お墓掃除の
ご褒美

西村康則 6 点 次点

3
炎天を避け
夕刻の墓そうじ
草引く背に
蜩の声が
降りそそぐ
玉虫 7点 三席

4
明日への
エネルギーを頂いて
帰途につく
五行が息づいていた
歌会
HIKARIKO 4点

5
稻田の上を
紐の付いた鷹が
飛び回っている
風が無いと惨め
色付きビニール
黒田節子 8点 同二席

6
キュウリに
聞いてみよう
叩かれてゴマキュウリ
バナナと一緒にスムージー
どっちがいい?
平村幸子 8点 同二席

7
蝶は太陽の背に乗り
蛾は街灯の腹をさする
互いに交差することもない
原始の土中の胎動の
ミヤクミヤク
ほたるいかさだ 4点

8
日日
ポツポツと
咲いては散る
日日草
日日是好日
いぶやん 11点 一席

■（参加者：8名）
天河童・いぶやん・黒田節子・玉虫・西村康則・
HIKARIKO・平村幸子・ほたるいかさだ

■10月例会は、全国大会開催に協賛し、きんきサロンは休会とさせていただきます。

■編集長からひと言、ふた言



前月は、びわ湖テラスの話題提供でしたが、今月のひと言も滋賀の話題です。写真はいさか古くて申し訳ありませんが、2005年7月、びわこ大津館で開催した「きんきサロン10周年記念歌会」時のものです。びわこホテルとして対岸に新築なるまでは、滋賀の迎賓館として、川端康成やヘレンケラー、昭和天皇も宿泊された由緒ある施設です。びわこホテル旧館ですが、現在はびわこ大津館としてイベントやセミナー会場として活用されています。前ぶりが長くなりましたが、このびわこ大津館が映画「国宝」ロケ地として聖地巡礼の観光客がつむかけ話題を呼んでいます。この正面の格調を感じさせる破風が見事ですね。

編集長は、映画「国宝」はまだ見ていませんが、このびわ湖大津館がどう使われているのか興味もあり、見に行きたいと考えています。

さて、きんきサロン10周年歌会の話に戻りますが、20年前の事で、冒頭の全国大会in神奈川が10年前、10年ひと昔風表現にすれば、ふた昔前となります。鬼籍に入られた方々もおられますのが懐かしい顔が拝見でき、感無量です。あれからもう20年ですか、早いものですね。東風さんが、七夕やからと朝早くから竹を切りに出かけて会場持参。あれやこれや懐かしさ、万感でした。
(はじめ記)